

日本スポーツ産業学会第32回大会開催される

第32回大会は、2023年7月22日(土)と23日(日)に、山梨学院大学にて行われました。参加申込者は総数173名(内有料参加者数:119名〔正会員:68名, 学生会員:27名, 非会員一般:10名, 非会員学生:14名〕)となりました。これもひとえに、大会実行委員会の皆様および関係者の方々の多大なるご尽力の賜物と感謝申し上げます。

尚、令和4年度の学会賞につきましては、『スポーツ産業学研究』第32巻第1号(2022年1月発行)から第4号(2022年10月発行)に掲載された原著論文22編、研究ノート7編、フォーラム2編の合計31編からの選考の結果、学会賞は該当がなく、奨励賞として研究ノート2編が選出されました。7月22日の総会後に同会場にて令和4年度学会賞授与式が行われ、尾山 基会長により賞状と副賞が授与されました。

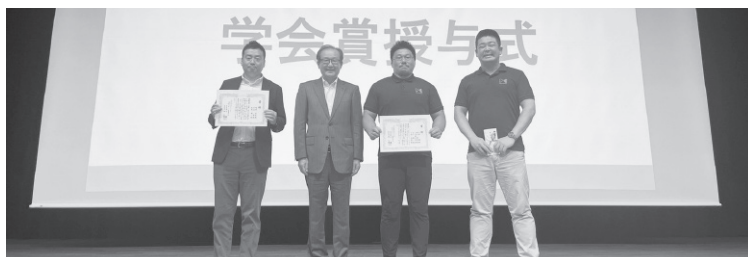
○奨励賞(副賞:各5万円)

- ・「日本における国際的なスポーツ人材育成のための海外短期研修の開発に関する事例的研究
- 3大学の事例を比較して -」

塚本拓也(仙台大学), 大山 高(帝京大学), 松尾博一(筑波大学) 共著 [研究ノート]
(第32巻第1号掲載)

- ・「日本ラグビーフットボール選手会によるPlayer Development Programの実践報告」

川村 慎(日本ラグビーフットボール選手会), 堀口雅則(日本ラグビーフットボール選手会),
小沼健太郎(日本ラグビーフットボール選手会), 山下慎一(福岡大学), 小塩靖崇(国立精神・
神経医療研究センター) 共著 [研究ノート] (第32巻第4号掲載)



左から塚本拓也氏, 尾山 基会長, 川村 慎氏, 堀口雅則氏

第11回冬季学術集会開催予告

第11回冬季学術集会は、次の予定で開催されますので、ご準備のほどよろしくお願いたします。

○期日: 2024年2月17日(土) ○会場: 大阪経済大学(〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8)

◇も く じ◇

・第32回大会アイデアコンペ 受賞結果について	2
・第32回大会アイデアコンペ ポスター発表について	2
・第68回理事会報告	3
・第33回総会報告	4
・スポーツ産業アカデミー開催報告	16
・事務局より	17
・『スポーツ産業学研究』原稿募集	18

第32回大会アイデアコンペ 受賞結果について

「アイデアコンペ」には34件の応募があり、厳正な審査の結果選ばれた5件の著者が当日プレゼンし、スポーツ庁関係者、学会会長、学会理事長、学会運営委員長、山梨県県庁関係者の審査を経て、次の結果となりました。懇親会の冒頭に審査結果が発表され、授与式が行われました。

○スポーツ庁長官賞

- 「規格外野菜×スポーツ×地域活性化プロジェクトの提案

～プロスポーツの飲食を規格外野菜で～
福山大学 経済学部 経済学科 藤本倫史
ゼミ

(授与者：スポーツ庁審議官 星野芳隆氏)

○日本スポーツ産業学会会長賞

- 「推し活×スポーツ×名産品開発=地域創生」
龍谷大学 経営学部 スポーツサイエンス
コース 松永敬子研究室

3年 土谷朋葉 末久まどか 飯田奈々
代表 松永敬子

(授与者：平田竹男会長)

○長野県知事賞

- 「やまなしの資源を活用したアウトドアツーリズムの循環プラットフォーム「Gateway Cruise Club Project」

株式会社アミューズ スポーツ&アドベンチャー事業部

- 「推し活×スポーツ×名産品開発=地域創生」
龍谷大学 経営学部 スポーツサイエンス
コース 松永敬子研究室

3年 土谷朋葉 末久まどか 飯田奈々
代表 松永敬子

(授与者：山梨県観光文化・スポーツ部次長 眞田健康氏)

※長野県知事賞は、「スポーツで儲かるビジネスモデル」について応募いただいた企画提案から選出される特別賞として今回設けられました。選出された企画は県との委託契約により、本年度内の実証事業としての採用を検討することになっております。

第32回大会アイデアコンペ ポスター発表について

(※印は当日の最終審査発表者)

- 「スポーツ&レジャートランスフォーメーション」

応募名：服部 宏／山本 俊

- 「ワインリンピックで山梨県を盛り上げよう！」

応募名：レイカル

- ※「健康経営」で山梨のスポーツ産業を盛り上げる～ヴァンフォーレ甲府との共創で山梨の企業を活性化～

応募名：フロム・シェフ株式会社、同志社大学

- ※「やまなしの資源を活用したアウトドアツーリズムの循環プラットフォーム「Gateway Cruise Club Project」

応募名：株式会社アミューズ

- ※「山梨をもっと自転車で走りたい 山梨の地

域を活用したマウンテンバイクビジネスモデル」

応募名：山梨学院大学スポーツ科学部学生
広報部

- 「投てきロボットdeオンラインボッチャ～共生社会まちづくり～」

応募名：東京工業高等専門学校、NECプロボノ倶楽部、一般社団法人オンラインボッチャ普及協会

- ※「推し活×スポーツ×名産品開発=地域創生」
応募名：龍谷大学 経営学部 スポーツサイエンスコース 松永研究室

- 「箱根駅伝ランナーをトリガーとしたランニング事業による地域活性化策」

応募名：麗澤大学 大沼ゼミ

- 「CHUKYO大運動会」

応募名：中京大学 草薙ゼミ 腹ペコグループ

- 「誰でも来られるアウトドア型スポーツBAR」
応募名：中京大学 草薙ゼミ barチーム
- 「廃棄食材から誕生する絶品料理を広めよう！」

応募名：中京大学 草薙ゼミ ファーム

- 「スポーツ×キャンプ スポキャン with 防災訓練で地域と楽しく連携」

応募名：中京大学 草薙ゼミ わんぱくグループ

- 「アフターコロナを生きる子どもたちへ「遊び」から始まる「スポーツ」へのきっかけづくり」

応募名：中京大学 草薙ゼミ アスレチックチーム

- 「溶けないアイス・溶けにくい氷の可能性」

応募名：中京大学 草薙ゼミ アスリートアイスチーム

- 「不要になったスポーツウェア・用品、衣服類の回収ボックスと活用」

応募名：中京大学 草薙ゼミre輪チーム

- 「スタジアムまでの道のりをワクワクに」

応募名：帝京大学 岩村ゼミ①

- 「ボールの使える公園はどこにある？
Google Mapを使った共有の試みやす」

応募名：帝京大学 岩村ゼミ②

- 「屋外ゆるスポーツで近視抑制」

応募名：帝京大学 岩村ゼミ③

- ※「規格外野菜×スポーツ×地域活性化プロジェクトの提案～プロスポーツの飲食を規格外野菜で～」

応募名：福山大学 経済学部 経済学科
藤本倫史ゼミ

- 「中等教育機関におけるスポーツデータサイエンティスト育成の仕組みづくりの提案」

応募名：NTT人間情報研究所 サイバネティックス研究プロジェクト

- 「スポーツDXによるアウトドアスポーツ・ツーリズムの日常化」

応募名：NTT人間情報研究所 サイバネティックス研究プロジェクト ネオ・サイバネティックスグループ

- 「[風]の時代の学苑都市構想～スポーツコ

ミュニティが奏でる「My Campus」の創造～」

応募名：WU JIKUN (ゴ セキクン)

- 「“4方良し”地域のステークホルダー4者持ち寄りによる次世代向けトップスポーツ体験『(仮称)千葉県型スポーツ振興』横展開のご提案」

応募名：新潟経営大学 島田 達人

- 「未来のスポーツ指導者向け採用時適正評価システムの提案」

応募名：九州産業大学 萩原 悟一

- 「プロによるリモート・コーチングプロジェクト」

応募名：久留米大学 行實ゼミ グループA

- 「NOWING～スポーツにおける地域創生、まちづくり～」

応募名：久留米大学 行實ゼミ グループB

- 「プロスポーツによる地域循環型システムの構築について」

応募名：日本文理大学 竹田ゼミ

第68回理事会報告

日時：2023年7月22日(土) 11時00分～11時30分

場所：山梨学院大学 クリスタルタワー8階会議室(西)

出席者(敬称略)：

会長 尾山 基, 平田竹男

理事長 井上智治

理事 池田 弘(代理：佐藤雄太郎), 大井義洋, 児玉ゆう子, 佐野毅彦, 高橋義雄, 中村好男, 藤原庸介, 松尾哲矢, 間野義之, 三木谷浩史(代理：伊藤洋), 水野明人(代理：村田一雄), 水野利昭

監事 得田進介

オブザーバー：

運営委員 青山芳之, 石黒えみ, 井上俊也, 宇藤智子, 庄司博人, 新戸明子, 田中克昌, 田中弘一, 塚本拓也, 辻 武伺, 長井延裕, 新井野洋一, 藤本淳也, 梁瀬和人

スポーツ庁 桃井謙祐

経済産業省 吉倉秀和, 加藤路子

東洋大学 小木曾湧

井上理事長による開会宣言後、尾山会長、平田会長、桃井氏、吉倉氏より挨拶がなされた。

理事会の成立（出席者13人（含代理出席）、委任状提出者4人）が確認され、議事録署名人として藤原理事、間野理事が指名された。

議題1) 第67回理事会事録確認

第67回理事会議事録が確認された。

議題2) 2022年度事業報告書について

井上理事長の指名により、中村好男理事（運営委員長）から資料に基づき2022年度実施事業について説明がなされ、原案通りこれを総会へ上程することが承認された。

議題3) 2022年度収支決算報告書について

井上理事長の指名により、佐野理事（運営委員会総務委員長）から資料に基づき2022年度収支決算について説明がなされた。続いて得田監事から監査報告がなされ、原案通りこれを総会へ上程することが承認された。

議題4) 2023年度事業計画書について

前回理事会にて承認された2023年度事業計画書（案）を総会へ上程することが確認された。

議題5) 2023年度収支予算書について

前回理事会にて承認された2023年度収支予算（案）を一部修正のうえ総会へ上程することが確認された。

議題6) 『スポーツ産業学研究』投稿規定の改定について

井上理事長の指名により、児玉理事（編集委員長）から資料に基づき投稿規定の改定案について説明がなされ、原案通りこれを総会へ上程することが承認された。

議題7) 第33回学会大会（2024年）の開催について

井上理事長の指名により、高橋理事（運営委員

会大会委員長）から東洋大学主管による開催が提案され、原案通りこれを総会へ上程することが承認された。

次回理事会は2024年2月17日(土)開催予定の冬季学術集会時に大阪経済大学にて開催することが確認された。

井上理事長の閉会宣言があり、理事会を終了した。

以上

第33回総会報告

日本スポーツ産業学会第33回総会は、2023年7月22日17時15分より、山梨学院大学メモリアルホールにおいて開催された。

1. 総会の出席者

第33回総会は、正会員53人（開会時）の出席、35人の委任状により成立した。

2. 議事の運営

総会は、高橋義雄理事・運営委員会大会委員長の開会宣言および司会で開会され、尾山基会長ならびに平田竹男会長の挨拶がなされた。議長には正会員から東原文郎会員が推挙され、議事が進められた。議案及び審議概略は以下の通りである。

3. 議題

1) 2022年度事業報告書について

議長の指名により、中村好男理事・運営委員長より資料1に基づき2022年度に実施した事業について説明がなされ、原案通りこれが承認された。

2) 2022年度収支決算書報告書について

議長の指名により、佐野毅彦理事・運営委員会総務委員長より資料2に基づき2022年度収支決算について説明がなされ、続いて監事に代わり監査報告書が読み上げられ、原案通りこれが承認された。

3) 2023年度事業計画書について

議長の指名により、中村理事・運営委員長より

資料3に基づき2023年度事業計画案の提案がなされ、原案通りこれが承認された。

4) 2023年度収支予算書について

議長の指名により、佐野理事・運営委員会総務委員長より資料4に基づき2023年度予算案の提案がなされ、原案通りこれが承認された。

5) 『スポーツ産業学研究』投稿規定の改定について

議長の指名により、児玉ゆう子理事・編集委員長から資料5に基づき投稿規定の改定案について

提案がなされ、原案通りこれが承認された。

6) 第34回学会大会(2024年)の開催について
議長の指名により、高橋理事・運営委員会大会委員長より東洋大学主管での開催について提案がなされ、原案通りこれが承認された。続いて実行委員会を代表して小木曾湧会員より挨拶がなされた。

議長の閉会宣言により、総会は閉会した。

以上

(資料-1)

2022年度事業報告

2022年度の実施事業は以下の通りである。

1. 学会組織の整備・充実・運営に関する事業

(1) 会議の開催

- ・第32回総会を開催した(2022年7月9日、於・帝京大学 八王子キャンパス)。
- ・第66回理事会を開催した(2022年7月9日、於・帝京大学 八王子キャンパス)。
- ・第67回理事会を開催した(23年2月11日、於・阪南大学:ハイブリッド開催)。
- ・運営委員会を2回開催した(2022年6月20日、2023年1月16日、於・オンライン)。

(2) 事務局機能の整備・充実

- ・ウェブサイト(<https://spo-sun.gr.jp/>)を活用した情報発信を行った。
- ・21年度から開始した会員管理システムを引き続き運用した。

(3) 会員の維持・拡充

- ・会員数(2023年3月31日現在)は以下の通りであった。
 - －正会員572人(前年度比6人増)
 - －学生会員116人(前年度比24人増)
 - －法人会員13団体(前年度と同数)(株)梓設計、アビスパ福岡(株)、岩崎電気(株)、SCSK Minoriソリューションズ(株)、コトブ

キシーティング(株)、(株)ジャパン・スポーツ・マーケティング、大成建設(株)、(株)竹中工務店、(株)東京アスレティッククラブ、(株)トーガシ、ヒューマンアカデミー(株)、ブリッド(株)、※三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)

※22年度入会

(退会:NECネッツエスアイ株式会社)

－賛助会員15団体(前年度と同数)

(株)アシックス、(株)井上ビジネスコンサルタント、(株)コングレ、※(株)CyberZ、(株)サニーサイドアップ、公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会、セノー(株)、(株)デザート、(株)電通、一般社団法人日本スポーツ用品工業協会、ホクエツ印刷(株)、ミズノ(株)、(株)横浜国際ゴルフ倶楽部、楽天グループ(株)、(株)WOWOW

※22年度入会

(退会:株式会社GKダイナミックス)

2. 出版事業

(1) 学会誌

- ・学会誌『スポーツ産業学研究』を以下の通り発行した。
 - －第32巻第2号(2022年4月1日;原著論文5編,研究ノート1編,第30回大会アイデアコンペ入選論文1編)
 - －第32巻第3号(2022年7月1日;フォーラム2編,原著論文5編,研究ノート2編,スポー

ツ政策学生会議 (SPJ) 2021受賞論文7編)

– 第32巻第4号 (2022年10月1日; 原著論文3編, 研究ノート3編, 第31回大会アイデアコンペ入選論文2編, スポーツ関連大学の入試情報一覧 (2022年度))

– 第33巻第1号 (2023年1月1日; 原著論文4編, 研究ノート4編, 第31回大会アイデアコンペ入選論文2編, 第31回大会アイデアコンペポスター発表論文2編)

- 学会誌『スポーツ産業学研究』(第32巻第2号～第4号, 第33巻第1号)の掲載論文を科学技術情報発信・流通総合システム (J-STAGE)にて公開した.

(2)学会ニュース

- 『学会ニュース』No.121からNo.124を, それぞれ学会誌第32巻第2号から第33巻第1号と合本して発行し, さらにウェブサイトに掲載した.

(3)情報誌

- 情報誌『Sports Business & Management Review』を以下の通り発行した.
 - 第22号 (2022年4月1日)
 - 第23号 (2022年7月1日)
 - 第24号 (2022年10月1日)
 - 第25号 (2023年1月1日)
- 情報誌『Sports Business & Management Review』の版面を学会ホームページにアップした.

(4)Webジャーナル

- Webジャーナル『Sports Business Online』を刊行した.

3. 学会大会の開催

(1)学会大会

- 第31回大会 (2022年7月9日(土)～10日(日), 会場・帝京大学 八王子キャンパス, 実行委員長・谷崎敦彦教授)を開催した.

参加申込者数: 201人 (うち有料参加者163人 [正会員89人, 学生会員23人, 非会員一般22人, 非会員学生29人])

- メインテーマ「多様な主体がスポーツを「つくる/はぐくむ」～協働マネジメント～」
- 基調講演「帝京大学に於けるスポーツの在り

方」

沖永寛子氏 (帝京大学 常務理事・副学長/帝京平成大学 学長)

– 実行委員会企画: スポーツ医科学センター ツアー・試食会

– 実行委員会企画シンポジウム①「『するスポーツ』における新たな価値創造」

【パネリスト】

川岸滋也氏 (東京フットボール株式会社/代表取締役社長)

鈴木良介氏 (Now Do株式会社/取締役副社長兼COO)

松本 有氏 (埼玉西武ライオンズ/経営企画部L-FRIENDSグループマネージャー)

大山 高氏 (帝京大学/実行委員会メンバー)

【モデレーター】

塚本拓也氏 (帝京大学/実行委員会メンバー)

– 実行委員会企画シンポジウム②「デザインの力が変えるスポーツ」

【パネリスト】

熊本浩志氏 (amadana株式会社/代表取締役社長&CEO)

山崎 亮氏 (関西学院大学/建築学部教授, 株式会社 studio-L/代表)

吉池 淳氏 (SPORTFIVE日本支社/代表)

米原博章氏 (筑波大学AD/スポーツアドミニストレーター)

【モデレーター】

片上千恵氏 (帝京大学/実行委員会メンバー)

– アイデアコンペ

○スポーツ庁長官賞

「過疎地域におけるICTを活用した運動部活動の活性化」

龍谷大学 経営学部 スポーツサイエンスコース 松永敬子ゼミ

村地颯斗, 田邊凌太, 吉田匠吾

○日本スポーツ産業学会会長賞

「新しい文化体験に出会う 月額制でイベント参加し放題」

株式会社Sonoligo 森 貴信

– 研究発表: 25題 (一般演題: 20題, アイデアコンペ: 5題)

– アイデアコンペポスター発表: 20題

(2)冬季学術集会

- 第10回冬季学術集会 (2023年2月11日(土・祝), 於・阪南大学 本キャンパス, 実行委員長 江原謙介) を開催した。

– 参加申込者数: 73人

– シンポジウム

「スポーツ×産業×教育」

◎開会・司会

古川拓也 (大阪成蹊大学 経営学部スポーツマネジメント学科 講師)

◎趣旨説明①

鳥山 稔 (至誠館大学 現代社会学部現代社会学科 助教)

◎講演①

橋本太郎氏 (ブロードメディア株式会社 代表取締役社長 ルネサンス高校グループ代表)

タイトル: e スポーツ × 産業 × 教育

◎趣旨説明②

棟田雅也 (鹿屋体育大学 スポーツ人文・応用社会科学系 助教)

◎講演②

徳田真彦氏 (大阪体育大学 体育学部健康・スポーツマネジメント学科 講師)

◎パネルディスカッション

– ランチタイム企画

「美食×ニュースポーツ～大阪名物やキャンブ飯を食べながらモルックを楽しもう!～」

– リサーチ・カンファレンス2023 (研究発表数: 17題)

- 日本スポーツ産業学会賞 (若手研究者育成セッション: 大学院生)

◎永井駿也 (富山大学大学院 人間発達科学研究科)

「独立野球リーグ球団が地域にもたらす社会的インパクト

– 富山GRNサンダーバーズを対象とした社会的投資収益率 (SROI) をもとに–」

○奨励賞

◎叢 瑋 (鹿屋体育大学大学院体育学研究科)

「ホームファンの感情が行動意図に及ぼす影響 – B3リーグのアリーナ観戦者に着目して –」

- 笹川スポーツ財団賞 (卒論セッション: 学部4年生)

◎中野凌馬 (びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ学部)

「Jクラブ観戦者における経験価値が、クラブへの愛着や行動意図へ及ぼす影響」

○奨励賞

中村 颯 (帝京大学経済学部)

「帝京大学の部活動における教育プログラムの導入に向けた研究 – 体育会における文武両道の実現を目指して –」

- 日本スポーツボランティアネットワーク賞 (ジュニアセッション: 学部1～3年生)

◎村上和彦 (帝京大学経済学部)

「フラッグフットボールの教育的効果の解明に関する一考察 – ジュニア世代からユース世代の子どもたちへの競技機会の創出 –」

4. セミナー等の開催

(1)スポーツ産業アカデミー

- スポーツ産業アカデミーを12回開催 (オンライン) した。

– 「ライブ配信技術と動画マーケティングで、地域・ローカルスポーツの価値を上げる取り組みとは～「ファンづくりのプロデュース」を行うrtv社の事例より～」

開催日: 2022年4月12日(火)

登壇者: 須澤壮太 (株式会社rtv代表取締役)

参加者数: 52人/参加申込者数: 55人

– 「[NTT東日本のローカル5G×eスポーツの取り組み] ローカル5Gの活用による新たなeスポーツ環境の開発」

開催日: 2022年5月10日(火)

登壇者: 大友真吾 (株式会社CyberZ執行役員 RAGE総合プロデューサー)

参加者数: 37人/参加申込者数: 42人

– 「仮想空間だけではない、コミュニケーションを変えるメタバース」

開催日: 2022年6月14日(火)

登壇者: 松尾 遼 (東京ケーブルネットワーク株式会社 未来創造部 未来開発グループ長)

参加者数: 33人/参加申込者数: 42人

– 「フランス発: フランス企業の新たなスポー

ツ観戦体験の取り組み」

開催日：2022年7月7日(木)

登壇者：Christophe Carniel (VOGO)

参加者数：31人/参加申込者数：43人

- 「eスポーツと地域コミュニティビジネスー大阪、関西に根ざして株式会社PACkageが取り組むeスポーツと地域コミュニティビジネスー」

開催日：2022年7月12日(火)

登壇者：山口 勇 (株式会社PACkage代表取締役 大阪府eスポーツ連合理事)

参加者数：13人/参加申込者数：25人

- 「eスポーツを通じた地域振興とデジタルイノベーション人材育成」

開催日：2022年9月13日(火)

登壇者：尾方 説 (一般社団法人 ジャパンeスポーツアソシエーション 代表理事)

参加者数：35人/参加申込者数：44人

- 「サンフレッチェ広島・新スタジアム建設事業の進捗と今後の展開」

開催日：2022年10月11日(火)

登壇者：信江雅美 (株式会社サンフレッチェ広島 総合戦略室長 兼 スタジアムパーク準備室長)

参加者数：51人/参加申込者数：52人

- 「eスポーツが実現する課題解決の可能性」

開催日：2022年11月8日(火)

登壇者：稲葉太郎 (株式会社QTnet 経営戦略本部YOKAプロ部 部長)
小橋勝之 (株式会社QTnet 経営戦略本部YOKAプロ部 eスポーツ事業グループ長)

参加者数：31人/参加申込者数：35人

- 「サッカーは社会の縮図ースポーツが生み出すコミュニティの重要性

サッカー日本代表OB DG会長が語る」

開催日：2022年12月13日(火)

登壇者：藤口光紀 (広島経済大学スポーツ経済学部教授, 広島県サッカー協会シニアアドバイザー, 日本フットサルトップリーグ代表理事, サッカー日本代表OB/OG会代表)

参加者数：24人/参加申込者数：33人

- 「横浜F・マリノスのeスポーツー横浜F・マリノスがスポーツビジネスの視点から考えるeスポーツの現在地と今後の可能性ー」

開催日：2023年1月11日(火)

登壇者：武田裕迪 (横浜マリノス株式会社ブランド戦略部 兼 一般社団法人F・マリノススポーツクラブ サステナブルパートナー室)

参加者数：47人/参加申込者数：53人

- 「日本パデル協会が目指す「パデル」の成長とビジネスチャンスー「世界で最も速く普及したスポーツ」の魅力と可能性ー」

開催日：2023年2月14日(火)

登壇者：中塚アントニオ (一般社団法人日本パデル協会 会長)

参加者数：22人/参加申込者数：26人

- 「今までの企業スポーツとこれからの企業スポーツーNTT東日本が企業スポーツを持つ意義：企業スポーツの苦勞と魅力, その先の挑戦ー」

開催日：2023年3月14日(火)

登壇者：飯塚智広 (NTT東日本野球部前監督)

参加者数：45人/参加申込者数：70人

(2)スポーツビジネスジャパン

- 「HALF TIME カンファレンス2022 Vol.2」 (2022年12月14日(水)~15日(木)：東京・日本橋とオンラインを舞台にしてハイブリッドで開催) にパートナーとして協力した。

(3)スポーツ政策学生会議 (SPJ) 2022

- Sport Policy for Japan 2022 (2022年10月29日(土)~30日(日), 於・神奈川大学みなとみらいキャンパス 対面とオンラインのハイブリッド形式) を開催した。
 - 参加：
 - 参加チーム数：53チーム (内, オンライン参加：11)
 - 参加大学数：22大学 (内, オンライン参加：4)
 - 参加学生数：278名
 - 受賞結果

○最優秀賞（研究奨励金：10万円）

- 立教大学 松尾ゼミ
「震災復興×ダンス×ファントークン-『岩手 MiraI さんさプロジェクト』-

○優秀賞

- 一橋大学 岡本ゼミチーム E
「未来の地域プロデューサーの育成を目指して～特産スポーツ立案インターン『さとスポ5 days』～」
- 神奈川大学 波多野・大竹ゼミナール 3年チーム T
「NO事故で良eライフを～高齢運転者事故減少を目指して～」
- 明治大学 澤井研究室 C
「『笑い』でフレイル予防-「笑えるスポーツ」で高齢者を健康に-」
- 一橋大学 岡本ゼミナールチーム L
「Deeee スポーツカフェ-e スポーツ×認知症カフェで社会をつなぐ-」
- 神奈川大学 波多野・大竹ゼミナール 3年チーム H
「スポーツdeジョイふる！～ふるさと納税による関係人口の創出に向けて～」
- 亜細亜大学 石黒ゼミ A
「フードドライブを利用した『スポエネ』プロジェクト プロスポーツクラブをモデルとした食品ロスと子供のカロリー不足に着目して」
- 中央大学 渡辺岳夫ゼミ スポーツビジネス班
「プロスポーツ組織の地域貢献活動が観客の再観戦意図に及ぼす影響に関する実証研究」

○協賛社特別賞（研究奨励金：各5万円）

◆協栄賞

- 神奈川大学 波多野・大竹ゼミナール 2年チーム Z
「海の森を環境教育レジャー特区へ～オリンピックレガシーを残しつつ環境問題の啓発に向けて～」

◆FORUM8 デジタル賞

- 東海大学 大津ゼミナール
「メタバースを活用したサステイナブルライフへの提案-脱炭素社会の実現に向けた

アプリで始める意識改革-」

◆ニュース・オプエド／ダイナミック企画立案賞

- 神奈川大学 波多野・大竹ゼミナール 3年チーム T
「NO事故で良eライフを～高齢運転者事故減少を目指して～」

◆笹川スポーツ財団賞

- 神奈川大学 波多野・大竹ゼミナール 3年チーム H
「スポーツdeジョイふる！～ふるさと納税による関係人口の創出に向けて～」

○特別賞

- 神奈川大学 波多野・大竹ゼミナール 2年チーム I
「スポーツを軸としたペットボトルごみの削減とマイボトル利用の普及」
- 日本体育大学 日比野ゼミ
「過疎地域在住者のQOL改善」
- 明治大学 後藤ゼミ A
「クローバープロジェクト～eスポーツを用いた交流促進～」
- 同志社大学 スポーツビジネスゼミ A
「スポーツクラブの地域貢献活動を活性化させるために-必要とされる資金収支スキーム改革-」
- 神奈川大学 小倉ゼミ
「高等教育機関におけるライフロング健康増進 (Healthy & Wellbeing University)」

○学生投票結果

◆1位

- 一橋大学 岡本ゼミチーム E
「未来の地域プロデューサーの育成を目指して～特産スポーツ立案インターン『さとスポ5 days』～」

◆2位

- 明治大学 澤井研究室 C
「『笑い』でフレイル予防-『笑えるスポーツ』で高齢者を健康に-」

◆3位（同率3チーム）

- 立教大学 松尾ゼミ
「震災復興×ダンス×ファントークン-『岩手 MiraI さんさプロジェクト』-
- 神奈川大学 波多野・大竹ゼミナール 3

年チームH

「スポーツdeジョイふる！～ふるさと納税
による関係人口の創出に向けて～」

- 亜細亜大学 石黒ゼミA

「フードドライブを利用した『スポエネ』
プロジェクト

プロスポーツクラブをモデルとした食品ロ
スと子供のカロリー不足に着目して」

(4)専門分科会

- スポーツ産業史専門分科会に補助した（次年度
2023年4月21日振込）.

5. 表彰事業

- 第32回総会（帝京大学：2022年7月9日）後に
同会場で学会賞授与式を行った.

－学会賞論文…副賞10万円

「東京都杉並区公立中学校の部活動活性化事業
に関する研究」

千葉直樹（中京大学）著 [原著論文]（第31巻
第4号掲載）

－奨励賞論文…副賞各5万円

「スポーツ指導スキルシェアリングの潜在的利

用者数の推計およびその特徴」

藤岡成美（早稲田大学）

石黒えみ（亜細亜大学）

舟橋弘晃（早稲田大学）

間野義之（早稲田大学）共著 [原著論文]（第
31巻第1号掲載）

「新型コロナウイルス感染症感染拡大に起因す
るリーグ戦休止・中止がプロバスケットボール
選手に与えた影響に関する研究」

神田れいみ（慶應義塾大学）

佐野毅彦（慶應義塾大学）共著 [原著論文]（第
31巻第3号掲載）

「江戸のスポーツ産業に関する研究－近世日本
のスポーツ産業史研究序説－」

谷釜尋徳（東洋大学）著 [研究ノート]（第31
巻第3号掲載）

- 次年度第33回総会後に授与が予定されている学
会賞の候補論文を選考した.

6. その他

- スポーツ産業教育推進プロジェクト推進委員会
を13回開催した.

(資料-2)

2022年度収支決算報告書

(2023年3月31日現在)

(収入の部)

(単位：円)

科 目	予 算 額	実 績	実績-予算
1. 入会金収入	90,000	93,000	3,000
a. 入会金収入	90,000	93,000	3,000
2. 会費収入	6,840,000	7,572,000	732,000
a. 正会員会費収入	3,500,000	4,014,000	514,000
b. 学生会員会費収入	140,000	208,000	68,000
c. 法人会員会費収入	600,000	650,000	50,000
d. 賛助会員会費収入	2,600,000	2,700,000	100,000
3. 寄付金・補助金収入	0	50,000	50,000
a. 寄付金・補助金収入	0	50,000	50,000
4. 販売品収入	1,834,000	2,726,700	892,700
a. 掲載料・論文抜き刷り代金	1,700,000	2,564,700	864,700
b. 図書等販売収入	134,000	162,000	28,000
5. 学会大会収入	1,675,000	1,649,000	△26,000
a. 参加費収入	905,000	1,057,000	152,000
b. 協賛金収入	300,000	300,000	0
c. 懇親会費収入	320,000	292,000	△28,000
d. その他	150,000	0	△150,000
6. 冬季学術集会収入	130,000	188,413	58,413
a. 参加費収入	0	0	0
b. リサーチ・カンファレンス協賛金収入	130,000	188,413	58,413
7. 事業収入	1,080,000	2,113,000	1,033,000
a. セミナー事業収入	100,000	74,000	△26,000
b. Sport Policy for Japan事業収入	980,000	2,039,000	1,059,000
c. その他	0	0	0
8. 雑収入	100	77	△23
a. 預金利息	100	77	△23
b. 雑収入	0	0	0
当期収入合計	11,649,100	14,392,190	2,743,090

(支出の部)

(単位:円)

科 目		予 算 額	実 績	実績-予算
1. 学会組織の整備拡充費		1,130,000	1,435,790	305,790
a.	理事会会議費	80,000	113,780	33,780
b.	運営委員会会議費	100,000	0	△100,000
c.	システム管理費	950,000	1,322,010	372,010
d.	広報活動費	0	0	0
2. 出版事業費		5,850,000	6,235,759	385,759
a.	学会誌印刷・製本費	3,200,000	3,916,000	716,000
b.	学会誌編集費	400,000	247,979	△152,021
c.	情報誌製作費	1,800,000	1,511,070	△288,930
d.	発送費	450,000	560,710	110,710
3. 学会大会開催費		1,675,000	1,291,138	△383,862
a.	会場費	150,000	0	△150,000
b.	懇親会費	545,000	283,404	△261,596
c.	印刷費	250,000	428,450	178,450
d.	講師関係費	200,000	234,748	34,748
e.	外国人講師関係費	0	0	0
f.	実行委員会関係費	0	0	0
g.	事務局費	500,000	344,536	△155,464
h.	予備費	30,000	0	△30,000
4. 冬季学術集会開催費		580,000	587,061	7,061
a.	会場費	200,000	0	△200,000
b.	昼食会費	50,000	107,383	57,383
c.	印刷費	100,000	67,870	△32,130
d.	事務局経費	100,000	272,357	172,357
e.	事業費	130,000	139,451	9,451
5. 事業費		1,443,716	1,966,674	522,958
a.	セミナー事業費	50,000	7,840	△42,160
b.	カンファレンス事業費	50,000	0	△50,000
c.	専門分科会事業費	20,000	0	△20,000
d.	Sport Policy for Japan事業費	1,023,716	1,958,834	935,118
e.	その他事業費	300,000	0	△300,000
6. 国際交流事業費		0	0	0
a.	海外研究者招聘費	0	0	0
7. 表彰事業費		280,000	261,000	△19,000
a.	学会賞表彰事業費	280,000	261,000	△19,000
8. 事務局管理費		4,130,000	3,710,570	△419,430
a.	交通費	600,000	92,799	△507,201
b.	消耗品費	200,000	128,352	△71,648
c.	通信費	300,000	304,803	4,803
d.	人件費	3,000,000	3,153,063	153,063
e.	雑費	30,000	31,553	1,553
9. 予備費		0	0	0
a.	予備費	0	0	0
b.	特別プロジェクト研究費	0	0	0
当期支出合計		15,088,716	15,487,992	399,276
当期収支差額		△3,439,616	△1,095,802	2,343,814
前期繰越金			15,588,611	
次期繰越金			14,492,809	

注

注) 当期の支払い分 (20,000円) が未払いのため未計上になっている。

(資料-3)

2023年度事業計画

1. 学会組織の整備・充実・運営

(1)会議の開催

- 総会（第33回）
- 理事会（第68回・第69回）
- 運営委員会（2～3回の予定）

(2)学会の広報

- ウェブサイト（<https://spo-sun.gr.jp/>）の活用・充実
- 展示会等への出展
- その他の広報活動

(3)事務機能の強化

- ウェブシステムの更新
- 〔参考〕正会員572人，学生会員116人，法人会員13団体，賛助会員15団体
(2023年3月31日現在)

2. 機関誌，会報等の発行

(1)学会誌の発行

- 『スポーツ産業学研究』（第33巻第2～第4号，第34巻第1号）
- 『スポーツ産業学研究』掲載論文を「科学技術情報発信・流通総合システム」（J-STAGE）にて公開（第33巻第2～第4号，第34巻第1号）

(2)情報誌の発行

- 『Sports Business & Management Review』（No.26～No.29）

(3)Webジャーナルの発行

- 『Sports Business Online』

3. 学会大会の開催

(1)学会大会

- 第32回学会大会（2023年7月22日(土)～23日(日) 山梨学院大学）

(2)冬季学術集会

- 第11回冬季学術集会（2024年2月予定）

4. 研究会，講演会，公開講座等の開催

- (1)スポーツ産業学セミナーの開催
- (2)スポーツ産業アカデミーの開催
- (3)スポーツキャリアサポート研究会の開催
- (4)スポーツビジネスジャパンの開催
- (5)スポーツ政策学生会議（SPJ）の開催
- (6)専門分科会への補助
- (7)その他事業

5. 表彰事業

- 学会賞の表彰
- 学会賞候補論文の選考

6. その他

- スポーツ産業教育推進プロジェクトの実施
- 産学連携事業の推進
- 他団体主催イベントへの後援・協力

(資料-4)

2023年度収支予算書

(2023年4月1日～2024年3月31日)

(収入の部)

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	差 額
1. 入会金収入	90,000	90,000	0
a. 入会金収入	90,000	90,000	0
2. 会費収入	7,140,000	6,840,000	300,000
a. 正会員会費収入	3,700,000	3,500,000	200,000
b. 学生会員会費収入	140,000	140,000	0
c. 法人会員会費収入	700,000	600,000	100,000
d. 賛助会員会費収入	2,600,000	2,600,000	0
3. 寄付金・補助金収入	0	0	0
a. 寄付金・補助金収入	0	0	0
4. 販売品収入	1,930,000	1,834,000	96,000
a. 掲載料・論文抜き刷り代金	1,800,000	1,700,000	100,000
b. 図書等販売収入	130,000	134,000	△4,000
5. 学会大会収入	1,675,000	1,675,000	0
a. 参加費収入	905,000	905,000	0
b. 協賛金収入	300,000	300,000	0
c. 懇親会費収入	320,000	320,000	0
d. その他	150,000	150,000	0
6. 冬季学術集会収入	100,000	130,000	△30,000
a. 参加費収入	0	0	0
d. リサーチ・カンファレンス協賛金収入	100,000	130,000	△30,000
7. 事業収入	1,080,000	1,080,000	0
a. セミナー事業収入	100,000	100,000	0
b. Sport Policy for Japan事業収入	980,000	980,000	0
c. その他	0	0	0
8. 雑収入	100	100	0
a. 預金利息	100	100	0
b. 雑収入	0	0	0
当 期 収 入 合 計	12,015,100	11,649,100	366,000

(支出の部)

(単位:円)

科 目		予 算 額	前年度予算額	差 額
1.	学会組織の整備拡充費	1,040,000	1,130,000	△90,000
a.	理事会会議費	40,000	80,000	△40,000
b.	運営委員会会議費	50,000	100,000	△50,000
c.	システム関連費	950,000	950,000	0
d.	広報活動費	0	0	0
2.	出版事業費	5,850,000	5,850,000	0
a.	学会誌印刷・製本費	3,800,000	3,200,000	600,000
b.	学会誌編集費	400,000	400,000	0
c.	情報誌製作費	1,200,000	1,800,000	△600,000
d.	発送費	450,000	450,000	0
3.	学会大会開催費	1,675,000	1,675,000	0
a.	会場費	150,000	150,000	0
b.	懇親会費	545,000	545,000	0
c.	印刷費	250,000	250,000	0
d.	講師関係費	200,000	200,000	0
e.	外国人講師関係費	0	0	0
f.	実行委員会関係費	0	0	0
g.	事務局費	500,000	500,000	0
h.	予備費	30,000	30,000	0
4.	冬季学術集会開催費	480,000	580,000	△100,000
a.	会場費	100,000	200,000	△100,000
b.	昼食会費	50,000	50,000	0
c.	印刷費	100,000	100,000	0
d.	事務局経費	100,000	100,000	0
e.	事業費	130,000	130,000	0
5.	事業費	1,462,192	1,443,716	18,476
a.	セミナー事業費	50,000	50,000	0
b.	カンファレンス事業費	50,000	50,000	0
c.	専門分科会事業費	40,000	20,000	20,000
d.	Sport Policy for Japan事業費	1,272,192	1,023,716	248,476
e.	その他事業費	50,000	300,000	△250,000
6.	国際交流事業費	0	0	0
a.	海外研究者招聘費	0	0	0
7.	表彰事業費	120,000	280,000	△160,000
a.	学会賞表彰事業費	120,000	280,000	△160,000
8.	事務局管理費	4,130,000	4,130,000	0
a.	交通費	200,000	600,000	△400,000
b.	消耗品費	200,000	200,000	0
c.	通信費	300,000	300,000	0
d.	人件費	3,400,000	3,000,000	400,000
e.	雑費	30,000	30,000	0
9.	予備費	0	0	0
a.	予備費	0	0	0
b.	特別プロジェクト研究費	0	0	0
当 期 支 出 合 計		14,757,192	15,088,716	△331,524
当 期 取 支 差 額		△2,742,092	△3,439,616	697,524
前 期 繰 越 金		14,492,809		
次 期 繰 越 金		11,750,717		

注) 前期の未払い分(20,000円)を含む

(資料-5)

『スポーツ産業学研究』 投稿規定の改定について

学会誌『スポーツ産業学研究』掲載論文のJ-STAGEへの公開に関して、投稿規定の一部改定を以下の通り提案いたします。

【現】

2. 投稿の条件

「著作権」

本誌に掲載された記事の著作権は、一般の論文集、学術雑誌と同様に、原則として本会に帰属します。

(以下、略)

【改定案】

2. 投稿の条件

「著作権」

本誌、およびJ-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム）内の電子ジャーナルに掲載された記事の著作権は、一般の論文集、学術雑誌と同様に、原則として本会に帰属します。

(以下、略)

スポーツ産業アカデミー開催報告

※日 時：2023年7月11日(火)18:00～19:30

■テーマ：「リアルスポーツとeSportsを取り巻く環境」

■登壇者：杉本龍勇氏（法政大学 経済学部教授）

■会 場：Zoomウェビナー

■参加者数：26人/参加申込者数：30人

※日 時：2023年8月8日(火)18:00～19:30

■テーマ：「カーリング科学におけるAIアプローチとは」

■登壇者：山本雅人氏（北海道大学大学院 情報

科学研究院教授）

■会 場：Zoomウェビナー

■参加者数：11人/参加申込者数：16人

※日 時：2023年9月12日(火)18:00～19:30

■テーマ：「“音で叶える、あなたと叶える” 音響ブランドnwm（ヌーム）が広げるスポーツの可能性」

■登壇者：坂井博氏（NTTソノリティ株式会社 代表取締役社長）

■会 場：Zoomウェビナー

■参加者数：13人/参加申込者数：17人

事務局より

〈シクミネットについて〉

2021年4月より会員管理・入金管理システムであるシクミネット (<https://shikuminet.com/>) を導入して3年目となりました。システム導入・継続にあたり多大なるご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

正会員、学生会員の皆様には以下の内容について当該システム上の「マイページ」よりお手続きをお願いいたします。

- 登録情報の編集
- 年会費の支払い
- 当学会主催イベントへの申し込み、入金

尚、年会費の支払い方法につきましては変更可能ですので、ご都合の良いお支払方法をご選択ください。決済方法はいつでも変更可能ですが、マイページ「ご請求・お支払い情報」で「決済中」となっているご請求がある場合は、このご請求の決済完了後から、変更可能となります。

クレジットカード決済をご選択されている場合、マイページの「ご請求・お支払い情報」ページ中、「お支払い履歴」一覧の一番右にあります「領収書」より、領収書の発行が可能です。こちらをご活用ください。但しこの場合、領収書の発行者が「しゅくみねっと株式会社」になります。学会発行の領収書が必要な場合は事務局までご連絡ください。

まだログインお手続きがお済でない会員の皆様は、早めのお手続きをお願いいたします。本学会の銀行またはゆうちょ口座へ直接お振込みをご希望の方は、事務局までご一報ください。その他ご不明な点等ございましたら、下記までお問い合わせください。

- システムに関して：シクミネット info-jssi10023@shikuminet.com
- その他：日本スポーツ産業学会事務局 jssi@spo-sun.gr.jp

〈学会事務局〉

現在事務局はリモートワーク中ですので、お問い合わせ等ございましたら事務局宛 (jssi@spo-sun.gr.jp) にメールでご連絡くださいますようお願いいたします。

〈新会員紹介のお願い〉

日本スポーツ産業学会の会員数は、現在、個人会員が約700名、賛助会員が14団体、法人会員が10団体です。

本学会は、設立理念にもありますように、産業界、学界、官界と幅広い分野から会員を募り学会活動を進めています。学会の趣旨に賛同し、ともに研究を進める仲間を募っています。ご紹介頂ければ幸いです。

- 個人会員：学会HPご入会のご案内 <https://jssi.shikuminet.jp/>
「会員登録申請」よりお手続き願います。
- 法人会員・賛助会員：事務局 (jssi@spo-sun.gr.jp) までご連絡願います。

「スポーツ産業学研究」原稿募集

「スポーツ産業学研究」の原稿を募集します。奮って寄稿されるようご案内致します。

1. 原稿の種類 フォーラム，原著論文（総合研究，理論研究，事例研究，調査研究），研究ノート，書評，アゴラなど。
2. 原稿の採否 編集委員会により投稿分類の妥当性および査読の可否を判定した後に査読委員が選ばれ査読が依頼される。その査読結果をもとに編集委員会は原稿の採否を決定し，その結果を投稿者に通知する。
3. 提出する原稿 メールへの添付ファイル（ワードかPDF，図表はエクセル可）で送付のこと。
4. 論文の送付先 〒202-0021 東京都西東京市東伏見2丁目7番5号
早稲田大学75-2 体育教室棟301号室
早稲田大学スポーツビジネス研究所内
日本スポーツ産業学会編集委員会
5. 執筆方法 「スポーツ産業学研究」投稿規定（学会ホームページ）を参照。

日本スポーツ産業学会 「学会ニュースNo127」

発行日：2023年10月1日

発行者：日本スポーツ産業学会理事長 井上 智治

編集者：児玉ゆう子，中村 好男，磯貝 浩久，元 晶煜
岡 浩一郎，梶川 裕矢，越川 茂樹，田中 克昌
藤田 康範，藤本 淳也，金子佐知子（事務局）

事務局：〒202-0021

東京都西東京市東伏見2丁目7番5号
早稲田大学75-2 体育教室棟301号室
早稲田大学スポーツビジネス研究所内
日本スポーツ産業学会事務局

TEL：042-461-1241

E-mail：jssi@spo-sun.gr.jp

<https://spo-sun.gr.jp>